

# 経 済 学

石橋春男著	初学者でも親しみやすく経済学が学べるように書かれた著書の待望の第2版。最新のデータに入れ替え、平易な文章と図表を数多く使用し、難解な理論をわかり易く解説。又、巻末の演習問題とチェックリストを活用することで、初学者が各種資格試験合格ラインまで到達できるよう、ねらいを定めた力作である。〔4181-7・02〕
経済学へのアプローチ〔第2版〕	
A5判上製424頁／3300円	
岡田義昭著	初級ないし中級レベルのミクロ・マクロ経済学に関する著者の講義材料をベースに、基礎的知識やシステマチックな思考様式を徹底的に理解・習得することを目指した。ビジネスパーソン、公務員、国際機関、団体職員、税理士、公認会計士等、経済・経営・商学系の学生の様々な進路に対応する。〔4248-7・14〕
現代経済理論〔第3版〕	
A5判上製188頁／2400円	
鳴村紘輝著	基本的な概念と理論を明快に解説した最新のテキスト。①はじめて経済を本格的に学ぶ読者を対象。②この一冊でミクロ経済学をより深く総合的に理解。③最新の重要トピック「ゲーム理論」と「不完全情報」の章を加えた。④豊富な図表による解説。⑤章末に「練習問題」を掲げ理解度をチェック。巻末に詳細な「解答・ヒント」。〔4196-5・05〕
新版ミクロ経済学	
A5判上製290頁／2800円	
鳴村紘輝著	マクロ経済学の中心的課題、景気循環の問題を古典派／ケインジアン、新しい古典派／ニュー・ケインジアンの視点から分析し、マクロ経済政策の有効性について解明。マクロ経済学のミクロの基礎づけに努め、国際マクロ経済学の分野にも分析を拡張した本格的な研究書。学部上級・大学院生のテキストとしても好適。〔4152-3・97〕
マクロ経済学	
理論と政策	
A5判上製412頁／5500円	
鳴村紘輝編著	豊富な図表による解説、章末に練習問題を掲げ、マクロ経済に起こる諸問題やマクロ経済学の基礎的な概念・理論を分かりやすく正確に説明する。マクロ経済学をより深く総合的に理解するための書。
商学双書2	
マクロ経済学	
A5判並製284頁／2500円	〔4250-0・15〕
吉田良生著／鈴木雅勝補訂	消費関数の問題、失業問題、経済成長問題、財政赤字解消の問題などの長期の問題にも言及し、日本経済・財政の高度経済成長期からの変遷を視覚的に理解できるよう工夫した入門書。
マクロ経済学入門〔補訂版〕	
A5判並製182頁／1900円	〔4265-4・20〕
吉田良生・角本伸晃・青木芳将・久下沼仁筈・水野英雄著	21世紀は知識社会です。新聞や雑誌だけでなくインターネットを通じても大量の情報を集めることができます。この情報は肉や野菜のようなもので、これらをどのように料理するのか、料理の仕方によって味はちがってきます。ミクロ経済学は経済情報という素材を活かして私達の生活に役立てる料理本です。〔4245-6・14〕
ミクロ経済学入門〔新版〕	
A5判並製148頁／1700円	

多部田直樹著

ミクロ経済学〔第2版〕

A5判上製468頁／3300円

伝統的なミクロ経済学の内容について、部分均衡分析を中心に総合的に学べるように工夫した。初めて経済学に触れる読者を念頭においたわかりやすい入門書。各章の初めに「概略」と「キー・ワード」、章末に「アドバンス・トピック」「演習問題」を配置することによって、読者の理解をより深める。〔4266-1・20〕

石橋一雄編著

政治経済学

A5判上製326頁／3000円

主要目次 第1章国民所得の決定 第2章貨幣経済の理論 第3章国民所得と利子率の同時均衡 第4章失業とインフレーション 第5章金融政策の理論 第6章経済成長理論 第7章国際金融 第8章家計行動の理論 第9章企業行動の理論 第10章市場均衡の理論 ほか〔4207-4・07〕

石橋一雄編著

日本経済論講義

A5判上製384頁／3500円

いま、日本経済が直面する具体的なトピックに焦点をあてて明快に解説した入門テキスト。戦後日本の契機循環、地球温暖化、平成バブル、公的年金、エネルギー資源、ロシア経済、日中貿易、分かち合う社会、イノベーション創出、意思決定理論、企業監視などの章で構成。大学院生の教科書としても好適。〔4224-1・09〕

横山将義著

開放マクロ経済学と日本経済

開放経済下における経済政策の成果

A5判上製390頁／6000円

国際的な経済の相互依存を前提とし、開放マクロ経済学の理論を用いて経済政策の効果ならびに有効性を考察するとともに、開放経済の視点から日本経済が抱える諸問題を明らかにしたうえで、その解決策や政策的処方提示する。〔4187-6・03〕

塚田広人著

社会システムとしての市場経済

第2版

A5判上製382頁／3200円

初版で指摘した市場経済社会の問題点は、以来10年余りを経、日本でも世界でも一層明らかに、また深刻になっている。その解決のために私たちは何ができるのか。新しく教育費負担の問題を一つの章に加え、本書が示す市場経済社会に対する分析の視点は21世紀初頭の現在、ますます有効性を増している。〔4220-3・09〕

塚田広人編著

雇用構造の変化と政労使の課題

日本・韓国・中国

A5判上製264頁／4000円

現代市場経済社会に生きるすべての人にとって雇用の確保は最重要な問題の一つである。しかし今、多くの国で失業あるいは不安定雇用の形をとって雇用問題はますます大きくなりつつある。本書は日本、韓国、中国における近年の雇用の実態と政労使の動きを考察する。〔4192-2・05〕

山田徳彦著

鉄道改革の経済学

A5判上製346頁／7000円

国鉄改革の検証を通じて、望ましい鉄道輸送サービス供給の制度と組織のあり方を模索する。日本国有鉄道に内在した構造の問題と国鉄改革のプロセスを振り返り、一連の議論と改革の内容をネットワークと組織の観点から考察し、それに照らして鉄道政策とJR旅客鉄道会社の行動を評価しようと試みている。〔4178-7・02〕

張艶著

中国のマクロ経済と物価変動の分析

経済改革後の中国経済

A5判上製244頁／5000円

中国の文献や資料を活用するだけでなく、日本や欧米の最近の経済理論や計量経済的手法を適用し、中国経済について分析する点に大きな特色と独創性があり、中国経済研究の新たな領域を切り開いたといえる。中国の物価変動の問題を専門的に分析、かつ体系的に扱い、対中国経済政策にとっても参考となる研究書。〔4199-X・06〕

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| 山崎弘之著                     | オーストリア学派経済学と言えば、その理論の背景に深遠な哲学があることは分かっていた。しかしそれがどのような体系をもつのか明らかにされてきたわけではない。今回、その創始者・メンガーの思想を踏襲してきたハイエクの自生的秩序を通してこの哲学的課題を掘り下げたものである。       |
| ハイエク・自生的秩序の研究<br>経済と哲学の接点 | [6088-7・07]  |
| A 5 判上製496頁／6500円         |  |
| 岡谷良二著                     | クラブ、提携形成、ネットワーク形成、地方公共財の理論など、私たちの生活において何らかの目的をもった集団が形成され、その目的をうまく達成しているかどうかを考える経済理論を紹介する。  |
| 集団形成の経済理論                 | [4251-7・15]  |
| A 5 判上製116頁／2400円         |  |
| 森脇祥太著                     | 本書では中国の経済発展過程が実証的に分析されており、同時に韓国・台湾・日本等の東アジア諸国との比較も試みられている。また経済発展に影響を与えた要因として産業構造変化、社会資本、中小企業、経済発展の結果として生じた問題として賃金格差と地球温暖化に注目した分析が行われている。   |
| 経済発展の計量分析                 | [4211-1・08]  |
| A 5 判上製242頁／4500円         |  |
| 近藤万峰著                     | バブル崩壊後のさまざまな金融環境の下で、金融機関の行動が具体的にどのように変化しているのか。また、それが一般生活者の金融関や金融サービスの利用環境とどのように関連しているのか。多角的に分析し、今後の金融機関の行動のあり方を考察する。                       |
| ポストバブル期の金融機関の行動           | [4218-0・09]  |
| A 5 判上製146頁／2500円         |  |
| 岡田義昭著                     | 情報通信技術の革命的進歩により、今日の経済は急速にグローバル化が進んだ。その過程で提起された喫緊の課題——為替レート・インフレ・景気の間際伝達プロセス——に対し、本書では、開放経済下の新たなマクロ経済学、すなわち動学的一般均衡モデルを基に、様々な角度から検討を加えている。   |
| 開放経済下の新マクロ経済分析            | [4217-3・09]  |
| A 5 判上製322頁／5000円         |  |
| 岡田義昭著                     | グローバル化の進展する主要国経済の現状を的確に分析し、有効な政策命題を導出する経済学的枠組みの構築が今日焦眉の急となっている。本書において、動学的一般均衡理論の開放化を図った新開放マクロモデル体系を創出し、それら体系を基に透徹した論理による理論的・実証的解明が展開されている。 |
| グローバル化への挑戦と開放マクロ経済分析      | [4246-3・14]  |
| A 5 判上製402頁／7500円         |  |
| 岡田義昭著                     | 国際通貨金融分野で耳目を集めつつある重要トピックスを取り上げ、開放マクロ経済学もしくは国際マクロ経済学の標準的分析ルールを基に、広範囲に亘る理論的・実証的分析を試みる。   |
| マクロ経済分析の地平                | [4261-6・17]  |
| A 5判上製310頁／6000円          |  |
| 野村友和著                     | 発展途上国や新興国において、平等に学校教育を受ける機会を与えられることで多くの人々が教育投資を行い自らの生産性を高め経済成長に貢献することで貧困が解消されるという視点で教育収益について多角的に考察する。                                      |
| 経済発展における教育投資と所得分配         | [4247-0・14]  |
| A 5 判上製164頁／3600円         |  |

渡邊隆俊著

## 地域経済の産業連関分析

A 5 判上製180頁／2800円

[4226-5・10]

産業連関表のデータや産業連関分析を中心に、日本やアジア地域を対象とした実証分析を報告。産業クラスター、温暖化対策税（環境税）、中小企業、海外直接投資、輸入原価価格の国内価格波及そして自由貿易協定の経済効果のトピックスに関する研究書。

酒井邦雄・村上亨・吉田良生・久下沼仁箭・寺本博美・吉田雅彦・角本伸晃著

## ポスト産業資本主義下の制度改革

A 5 判上製232頁／2700円

[4200-7・06]

従来の様々な制度—雇用、財政等—が現実適応性を失い、国民の不安を高めている。これは価値観の変化、市場化、グローバル化の進展による。本書では、制度の経済学の観点から、ポスト産業資本主義下でなぜ従来の制度が機能せず、不安が高まるのか、今後の課題は何かを明らかにしている。

有田謙司・石田成則・塚田広人・浜島清史・柳沢旭・横田伸子共著

## 失業と雇用をめぐる法と経済

A5判並製192頁／1800円

[3184-6・03]

現在の日本における雇用と失業問題を理解するため、本書では、法と経済の二つの分野の研究者が協力して、複眼的、学際的な視点から、雇用の不安定と失業増の現状、原因、対策の三つの分野にわたって、その全体像を分析する。雇用、失業問題の現状と今後の展開の方向を理解するための好著。

アンソニー／ビックス著 石橋春男・関谷喜三郎訳

## 経済・金融・経営のための数学入門

A5判上製306頁／3500円

[4167-1・00]

ミクロ経済学、マクロ経済学だけでなく、金融論、経営学を学ぶ人のために数学の基礎知識をわかりやすく解説。金融論や経営学に関する具体例を豊富に用いて、初学者にも十分理解できるようにていねいな説明がなされている。さらに、ある程度数学の知識を有する人の学習にも適応できるよう配慮されている。

オルラ・オルソン著／石山健一ほか訳

## マクロ経済学

A5判並製256頁／2400円

[4263-0・17]

マクロ経済分析に対して理論的に大きな貢献をなしてきた中級レベルの主要概念を簡潔に示す。工業化以前の時代の経済成長から現代の政治経済的景気循環までを網羅する充実したテキスト。

森島覚著

## 大洋州の経済と労働

民営化とは何だったのか 労働とは何か

A 5 判上製272頁／4500円

[4230-2・11]

大洋州では1980年代から90年代、スタグフレーションを克服するものとして民営化が労働党政権下全面的に展開された。その功罪を明らかにすると共に、結局のところ「社会主義」崩壊の最大理由でもある労働の処理に行き着くことを主張し、克服の根拠を貴賤の無い職業、働く者中心の社会とする。

柴山宮恵子著

## やさしい統計学

A 5 判上製164頁／1900円

[8032-4・92]

近年、データの統計的処理をはじめ非常に多くの分野で統計解析が行われている。これはそれぞれの専門知識のもとで利用され、学問の一層の発展や社会状況の把握などに役立っている。統計的処理や解析結果の理解に必要なとされる統計学の知識のうち最も基本的な部分について平易な例を用いて解説している。

# 経済政策

横山将義著

商学双書 1

## 経済政策

A 5 判並製308頁／2500円

[4242-5・12]

マクロ経済学・ミクロ経済学の基礎理論に基づき、経済政策の効果及び有効性を明らかにする。経済理論をいかにして政策問題と関連づけ、応用するかを中心に明快に解説し、経済政策の理論を学ぶ知識と手法を提供する待望の一冊。

瀬野隆監修著

## 新現代経済政策論〔第2版〕

平等論と所得格差

A 5 判並製414頁／3300円

[4264-7・18]

現代的で関心度の高いテーマを扱う教科書。経済政策課題に関する根源的な理解を助ける。第2版では、現代社会がさらに富の一極集中と所得階層の二極化を進化させていることから、改めて平等論・不平等論を歴史的・哲学的・政策的に研究した。

矢崎隆夫著

## 経済開発政策論

A 5 判上製308頁／6000円

[4223-4・09]

発展途上国の経済開発と人々の幸福度向上との因果関係を、貧困・人権・政治・制度・慣習・宗教・文化・教育・環境などを視野に入れ、主として、理論と政策実務の視点から考察したものである。実例として、東アジアの経済開発を取り上げて、開発における政府の役割と市場の機能を実証的に検討している。

大塚耕平著

## 公共政策としてのマクロ経済政策

財政赤字の発生と制御のメカニズム

A 5 判上製378頁／5000円

[4186-8・04]

財政政策と金融政策から構成されるマクロ経済政策は必ずしも科学的なものではない。政府(財政当局)、中央銀行、有権者の3者の行動がマクロ経済政策に歪みをもたらし、必然的に財政赤字の拡大と貨幣化政策を招来する。本書では、マクロ経済政策の有効性と制御可能性を学際的な視点から考察する。

諏訪貞夫編著

## 日本経済の進歩と将来

A 5 判上製328頁／3000円

[4205-0・07]

編著者の早大政経、経研セミナー出身者の啓蒙学術論文集である。新進気鋭のエコノミストによる現代日本経済論である。一編は日本経済政策学会会長の論文もある。大きく変貌する国際環境で日本経済をどう考えるかを、十名の著者が、それぞれ独自の分析と説明を行っている。

角本伸晃著

嵯山女学園大学研究叢書40

## 都市と不動産の経済分析

A 5 判上製270頁／4500円

[5054-3・10]

第一部において都市における不動産開発と地代・地価の都市空間構造を理論的に明らかにするとともに、第2部ではその応用として、中心商店街を例にしてアメニティ資源の保全策並びに土地利用規制とレント・シーキング問題について分析した。リアル・オプション理論による分析も加えている。

山本哲三編著

商学双書 6

## 公共政策のフロンティア

A 5 判並製442頁／3200円

[4262-3・17]

公共部門で民営化と規制緩和が、公共政策論で「公共選択」が重要な政策潮流となったことを受け、我が国でも今後の改革が予想される政策分野をトピックスとして取り上げる。

---

伊東維年・鹿鳴洋・根岸裕孝編著

2016年熊本地震における熊本県工業連合会の復旧・復興支援活動の記録。

## 熊本地震と熊本県の工業

熊本県工業連合会の復旧・復興支援活動の記録

B5判上製204頁／5000円

[9274-1・19]

---

伊東維年・鈴木康夫編著

熊本地震による県の観光被害と復旧・復興の状況を考察。観光分野における東日本大震災と熊本地震の比較分析と、熊本地震に伴う国と県の観光対策を検討し、それぞれの問題点と今後の課題を明らかにする。

## 熊本地震と熊本県の観光

A5判上製272頁／5000円

[9278-9・20]

---

## 国際経済・国際金融論

大畑弥七・横山将義著

商学双書7

### 国際経済学

A 5 判並製258頁／2500円

[4259-3・16]

大畑弥七著『国際貿易論』の後継となる国際経済学の入門書。理論と政策に焦点をあてて、国際経済学の基礎を解説。開放経済の視点から経済問題を読み解く手法を提供する。

戸崎徹・小倉取著

### 国際経済論〔改訂増補版〕

A 5 判上製282頁／3000円

[4231-9・11]

序章、第1章の一部分、さらに第4章の国際収支、及び第6章を加筆した。より充実した改訂増補版。  
《主な内容》序章国際経済／第1章貿易理論／第2章貿易政策／第3章生産要素の移動／第4章国際収支／第5章国際経済機構／第6章現代国際経済の諸問題

岡田義昭著

### 国際金融の新たな枠組み

A 5 判上製286頁／4000円

[4201-5・06]

東アジアは“東アジア共同体”の実現に向け新たな時代に入った。多面的な連携を深めつつある同地域の現状を踏まえ、本書では近年進展の著しい国際マクロ経済学をベースに透徹した理論的・実証的検討が加えられることにより、通貨金融統合に関する一つの枠組み（アーキテクチャー）が提示されている。

岡田義昭著

### 国際金融論 攷

新開放マクロ経済学的分析

A 5 判上製348頁／5500円

[4229-6・11]

主要通貨が1873年に変動相場制へ移行して以降今日に至るまで、現実経済が提起した重要な課題—為替レートや金利などの金融変数と実物経済との動学的相互作用に関する解明—に対し、本書は近年進展の著しい新開放マクロ経済学に依拠した分析を加えることにより、新たな知見を提示している。

谷内満著

商学双書4

### 国際金融と経済

国際マクロ経済学入門

A 5 判並製272頁／2500円

[4252-4・15]

国際金融と各国経済のダイナミズムをわかりやすく説明し、国際的視野で経済を見る眼を養う。現実の経済問題の興味深い分析も豊富で、円高や産業空洞化などの「通説」も鋭く検証する。

秋葉弘哉・飯田幸裕・北村能寛著

### 外国為替制度論

A 5 判上製232頁／3200円

[4228-9・10]

国際金融論の最重要テーマ、外国為替制度の専門書。危機に耐えうる制度を厚生面から検討。自由変動制と厳格な固定制の二制度のみが生き残れるとは限らず、中間的制度の存在意義を厚生面から証明。通貨同盟の分析では、マンデルの言う理想的状態の経済学的意義を解明した最新の研究成果を問う意欲作。

寺町信雄編著

### 国際貿易論の理論と日中貿易

A 5 判上製284頁／4200円

[4256-2・15]

国際貿易論の理論分析を扱った論文6編と国際貿易の実証分析に関わる日中貿易の分析を扱った論文4編から構成する研究書。

## 保険・海商法

金澤理著

### 保 険 法

A5判並製324頁／2700円

[2722-4・18]

今後開発される保険商品の理論的基礎を提供する。二〇〇八年に商法から独立して制定された保険法及び関連法令の改正を反映するなど、最新の教科書。

大谷孝一編著

### 保 険 論 [第3版]

A5判上製412頁／2800円

[4240-1・12]

経済活動や自然災害など私たちを取り巻く社会現象は多くの危険を生み出している。これらの危険は万全の注意を払っても完璧に防ぐことは不可能であるが、出来るだけそのリスクを軽減する方法の一つが保険制度である。本書は各分野における最高の執筆陣により、保険全般について解説した入門書である。

石山卓磨編著

### 現 代 保 険 法 [第2版]

A5判並製446頁／3500円

[2604-3・11]

保険に関する理論・判例・実務には、近時、著しい発展が認められる。本書は、基本的に通説ないし多数説に従い、現代の要請に対応しうる理論的水準において、保険制度を法的角度から解説する。第2版は、平成22年4月に施行された新・保険法に対応し、大幅な改訂を施したものである。

箱井崇史著

### 基本講義現代海商法 [第4版]

A5判並製286頁／2500円

[2765-1・21]

2019年の船舶油濁等損害賠償保障法などに対応。写真・図表を用いながら現代海商法の世界をイメージできるようわかりやすく叙述する。学生のみならず、海運、商社、銀行、保険会社などの若手実務家にも有用な入門書。

中村眞澄・箱井崇史著

### 海 商 法 [第2版]

A5判上製456頁／3800円

[2636-4・13]

学生になじみの少ない海商法を平易に解説するほか、用語解説や文献引用を多くし、理解を助ける工夫をしている。一方で新しい問題や、特殊研究に基づく独自の見解を随所に展開するなど、大学院生、実務家にとっても有益である。新たな考えも反映させつつ大幅に加除修正を加えた待望の第2版。

箱井崇史・松田忠大編著

### 船 舶 衝 突 法 [第2版]

A5判上製552頁／8000円

[2791-0・23]

10年ぶりの改訂！船舶衝突に関する条約、法律、判例、実務などの変化に対応するとともに、海洋環境損害に関する問題等にも論究する。近年類を見ない海洋研究の書で、実務家にも有用。

松島 恵著

### 損 害 保 険 入 門

A5判並製376頁／3500円

[4214-2・08]

私たちの財産や身体を火災・地震・自動車事故・けがなどのリスクから守り、くらしの安心を支える火災・地震・自動車・傷害・医療の各保険、他方、事業活動の安心を支える生産物賠償責任・海上保険を取りあげ、損害保険の原理をはじめ、各損害保険の担保保険・損害、免責保険につき平易に解説した指南書。



中出哲・嶋寺基編著

## 企業損害保険の理論と実務

A5判上製456頁／6000円

企業の損害保険における待望の体系書。企業のビジネスに不可欠な損害保険のうち、中心となる「財物」「利益」「賠償責任」の保険を対象として理論と実務を詳しく解説。背景にある法制度や契約理論を解説し、外国約款との比較も行いグローバルな実務にも対応。専門家がそのノウハウを結晶化させた実務に不可欠な1冊。〔4268-5・21〕

星野明雄著

## アクチュアリー数理の基礎

〔数学〕

A5判上製404頁／5000円

保険数理業務を担う専門職「アクチュアリー」の資格試験科目のうち数学に関して、1冊で必要事項の全体を網羅する教科書。受験者必携！

〔4269-2・23〕

武田久義著

## リスク・保障・保険〔第2版〕

A5判並製210頁／2300円

本書は、三部で構成されている。第一部は保険の基礎理論を、第二部はリスクと保障を理論的・実践的に、そして第三部は保障と保険の歴史を論じている。リスクと保障および保険に関する様々な問題を幅広い見地から、わかりやすく説明している。新しい保険法も反映しており、教科書等に最適である。〔4238-8・12〕

鈴木辰紀著

## 自動車保険読本

A5判並製108頁／800円

自動車保険を契約する人のための分かりやすい入門書。多種多様な契約、それぞれ異なる対応、それらを最新のデータに基づき事例を挙げて単純明快に解説。さらに、世界の自動車保険と比較しながら濃縮された根本的な問題を提起している。読みやすいにも係わらず、学術的に劣らぬ格調の高さは今までにない名著である。〔4202-3・06〕

鈴木辰紀著

## 自動車保険のつぼ〔改訂版〕

A5判並製142頁／1700円

人身傷害補償保険はなぜ必要か？実例を挙げながら解説。人損に対して保険で備えるための自賠責保険、対人賠償保険、人身傷害補償保険の重要性をひもとく。さらに任意保険料と自賠責保険料、将来の介護料、自動車保険の問題点などにも触れ、聞きたかった、知りたかった自動車保険のまさに「つぼ」を啓蒙する名著。〔4243-2・13〕

鈴木辰紀著

## 判例に見る被害者救済

46判並製144頁／1200円

実際の事故をもとにその判決を紹介し、強制保険である自賠責保険と任意の自動車保険がどのようにからんで事故被害者救済にどのように役立っているかを確かめる。一瞬の事故がもたらす事故の悲惨さ、被害者・家族の苦悩の深さはいかばかりか。交通事故の実状を誰にでもわかりやすく解説している。〔4216-6・08〕

鈴木辰紀編著

## 日台中の自動車保険

A5判上製152頁／3000円

強制自動車保険関連の論文を一書にまとめたものである。中台両国の強制自動車責任保険についてのわが国での理解を深める名著。

〔4221-0・09〕

鈴木辰紀著

## 中国の自動車保険

46判並製106頁／1500円

中華人民共和国の自動車保険の最近の事情について紹介。2006年7月に発足した中国の全国一律の強制自動車責任保険の現状を分析。中国の自動車保険の現状と特徴をとらえる類書を見ない意欲作。附録として、強制自動車交通事故責任保険条例、強制自動車交通事故責任保険約款を取録。〔4232-6・11〕

鈴木辰紀著

## 保険の現代的課題Ⅳ

A 5 判上製124頁／2500円

①本書は自動車保険をめぐる問題点の研究を主体とするが、生保の問題にも触れられている。自動車保険については、人身傷害補償保険考、交通事故と過失相殺、人身傷害補償保険と請求権地位の問題が、また生保については不可争条項と詐欺無効の問題が論じられる。

[4225-8・10]

中出哲著

## 損害てん補の本質

海上保険を中心として

A 5判上製514頁／10000円

損害保険の特徴である「損害をてん補するもの」とは何かを種々の視点から考察し、その本質を解明しようとする損害保険の契約理論の研究。

[4258-6・16]

野口夕子著

## 保険契約における損害防止義務

モラル・ハザード防止機能という観点から

A 5判上製362頁／6200円

商法660条1項について、立法の沿革、学説の来歴を踏まえつつ、同項が保険制度におけるモラル・ハザード防止策であるとする経済学的検証、ドイツ、中国、イタリア、台湾を対象とした比較法的考察に基づき、わが国通説及び実務慣行を鋭く批判、同項但書の強行規定化という新たな解釈学説を提示する。

[2510-7・07]

松田忠大著

## 船舶衝突責任法の課題と展開

A 5判上製252頁／5000円

本書では、現代における船舶衝突の特質を踏まえて、これによって生じた損害賠償責任にかかわるいくつかの問題について、これまでの裁判例および学説の見解とは異なる法理論に基づく新たな提案を試みる。

[2654-8・14]

小林寛著

## 船舶油濁損害賠償・補償責任の構造

海洋汚染防止法との連関

A 5判上製320頁／6000円

海洋汚染防止法上の規律に着目しながら、船舶起因の油による海洋汚染に関する損害賠償・補償責任の構造を分析し一定の解釈論および立法政策論を提示することを目的とする研究成果。

[3368-3・17]

大谷孝一監訳

## 新訂 貿易貨物保険の基礎

A 5 判上製266頁／2816円

本書は、デニス・バジャー (Dennis Badger) とジェフリー・ホワイトヘッド (Geoffrey Whitehead) の“Elements of Cargo Insurance” (1983) の全訳である。「外国貿易の基礎」シリーズの1冊であり、英国における貨物海上保険の実務を簡潔・網羅的に解説した、外国貿易の基礎を学ぶための格好の参考書。

[4090-X・92]

大谷孝一著

## フランス海上保険契約史研究

A 5 判上製356頁／7000円

フランスにおける海上保険契約の生成と発展の歴史を、フランス各地に残る貴重な史料をもって実証的に研究し、更にフランス初期の海上保険証券がどのような理由で全国統一様式の保険証券に統合され、どのような変遷を経て今日使用されている保険証券様式へ展開していったのかを探る労作。

[4165-5・99]

志津田一彦著

## 船舶先取特権の研究

A 5 判上製478頁／6000円

船舶金融に関し、海上先取特権・抵当権に関する国際条約と船舶アレスト条約がある。本書は、わが国の船舶先取特権の立法過程と現状、比較法、国際条約の動向を踏まえながら展望する。法規の役割分担や限界、求償関係を含む合理性・整合性、その方向性や harmonization、責任体系の現代化について追究する。

[2589-3・10]

山野嘉朗著	<p>保険契約法の改正作業が進行し、保険金不払いが社会問題化する中で、消費者保護の問題をどのように考えるべきか。比較法的手法を用いて立法論・解釈論を展開するとともに、保険実務のあり方を追究する。</p>
<p>保険契約と消費者保護の法理</p>	<p>A5判上製384頁／7000円 [4204-3・07]</p>
江澤雅彦著	<p>「情報開示制度の充実」は「消費者志向の生保経営」の1つのメルクマルである。本書は、米国の事例（利回り開示論議、不正乗換募集等）ならびにドイツの「保険即情報商品説」の検討を踏まえ、保険業法改正後、新たな段階を迎えたわが国生保会社の情報開示制度のあるべき姿を追求したものである。</p>
<p>生命保険会社による情報開示</p>	<p>A5判上製250頁／5000円 [4177-9・02]</p>
武田久義著	<p>「万一の場合」の生活を保障する生命保険会社が、7社も経営破綻した。これは、情報化、国際化、高齢化という大きな環境の変化の中で起きた出来事である。本書は、環境変化の中での商品政策、資産運用、信頼の喪失という3つに焦点を当てて、経営破綻に至る経緯を明らかにしている。</p>
<p>生命保険会社の経営破綻</p>	<p>A5判上製272頁／4800円 [4209-8・08]</p>
金子暁実著	<p>日本は英国の標準火災保険証券に学んで火災保険約款を作成した。本書は同国の新旧両約款とアメリカのそれと多くの判例、ドイツ新約款も参考にしてわが国の新旧両約款の主要な問題である保険会社の支払責任を論じている。かんたんな解説書とちがって数少ない詳細な研究資料である。</p>
<p>火災保険普通約款論</p>	<p>A5判上製246頁／5000円 [4163-9・98]</p>
黒木松男著	<p>現行地震保険制度に対しては、被災者救済という本来の使命を達成していないとの社会的非難が集中している。同制度の抜本的な改革を目指し、米国カリフォルニア州およびニュージーランドの地震保険制度の批判的検討ならびに阪神大震災後の同制度に対する改革提言の検証を通して、著者の試案を示す意欲作。</p>
<p>地震保険の法理と課題</p>	<p>A5判上製318頁／6000円 [2437-8・03]</p>
應本昌樹著	<p>市民の司法アクセスを高め、法の支配の行き渡る社会実現のため不可欠かつ有望な仕組みである権利保護保険の特質を明らかにし、司法制度に与える影響を踏まえた規範の在り方を探る。</p>
<p>権利保護保険</p>	<p>A5判上製350頁／6600円 [4260-9・16]</p>
榎木貴之著	<p>交通事故補償制度の中心的な問題である損害論・保険論・紛争解決手続の三点を取り上げ、実務家の視点からイギリスと日本の比較法的考察を行い、日本の現状が抱える問題点を明確にする。</p>
<p>交通事故損害賠償の法理と紛争解決手続</p>	<p>A5判上製296頁／5500円 [2795-8・23]</p>
<p>シモン・フレデリック著／鈴木辰紀 抄訳 日本交通政策研究会研究双書19</p>	<p>原著の関心は傷害被害者の網羅的救済である。交通事故に関しては既存の民事責任には手を触れず、実損補填式傷害保険をもって理想とする。そこでの「実損」は民法の定める賠償額から社会保障・労災・賠償保険等からの給付金を控除した残額である。しかもその支払は仮渡金にすぎない。</p>
<p>現代危険と傷害被害者の補償 民事責任拡張の代替物：実損補填型損害保険</p>	<p>A5判上製192頁／3000円 [4191-4・04]</p>

# 経営学

李洪茂著  
商学双書7

## リスク・マネジメント論

A 5 判並製264頁／2500円

[5069-7・19]

自然災害等による環境変化と不確実性の増加や不祥事・事故等を背景に、企業リスク・マネジメントの重要性が増している現在、リスク・マネジメント論の体系的枠組みを試みる概説書。

大島俊一著

## 近代的管理の成立

A 5 判上製260頁／3200円

汗牛充棟といった感がある経営管理の成立に関する研究成果の中に、イギリスではなく何故アメリカで経営管理が発展したのかという根本的課題を19世紀半ばに開催された第一回万国博覧会でのアメリカの出品作品の評価・影響を端著に考察して、アメリカの生産方式の確立への過程と近代的管理の成立時期を特定した [5037-9・97]

大島俊一著

## 21世紀への潮流

総合物流化と経営の視点

A 5 判上製256頁／2700円

本書は平成9年4月4日に閣議決定された「総合物流施策大綱」を精査し、物流効率化推進のために含まれている画期的な法的整備内容を解明し、更に大綱が秘めている壮大な構想を描き出し、まさに今日本が直面している産業経済の構造改革の神髄にふれる、バイブルの内容が秘められている力作。 [5041-7・01]

大島俊一著

## 経営品質の時代

世界と自立

A 5 判上製230頁／2300円

産業構造改革への世界的な動向に際して不可欠なものは、先進国としての「自立」であり、世界市場との「位置」と「意義」の樹立である。本書はわが国の再生への切り口を表裏一体となった物流効率化と情報化推進に求め、数々の産業施策を元に企業社会の21世紀型の方向性を提示している。 [5046-8・03]

辻村宏和著

## 組織のトラブル発生図式

問題分析志向の経営組織論

A 5 判上製228頁／3000円

オーソドックスな経営組織論の論述構成を取って避け、「組織に関する知識」よりも「組織づくり」に焦点を置く。「組織づくりは難しい」というばく然とした共通感覚をよりクリアなチェック・ポイントの形にすべく、トラブル発生の必然性をロジカルに図式化し、組織の不安定性を解明する。 [4136-1・94]

辻村宏和著

## 組織化技能への接近

経営組織論の実学性

A 5 判上製188頁／2500円

「組織とは？」論でもなく、「組織について」論でもなく、あくまで組織づくりに焦点を定めた実学的経営組織論を目指す。それはマネジメントの「現場の問題」に応じた基本的仮説（組織の問題発生図式）の展開を志ぎすもので、ディシプリン中心の研究スタイルからイシュー（問題）中心のそれへの移行を意味する。 [5032-8・95]

辻村宏和著

## 組織化技能論と問題発生図式

A 5 判上製150頁／2500円

「総合」概念、「問題発生図式」を中核論理として、職能別スペシャリスト（スタッフ）ではなくゼネラリスト（経営者）の育成を目指した職業的対応の明確な「ハウ・トゥー・オーガナイズ」論をあえて強調。方法論的には、個別ケースから抽出される仮説の有効性を唱え、イシュー・オリエンティッドな組織化技能論へと誘導。 [5038-7・97]

- |                   |   |
|-------------------|---|
| 國澤英雄著             | マネジメント力が成功の可否を決める。マネジメントには、人類の歴史の中で積み上げられてきた普遍の法則がある。数百年存続する企業や現代の話題企業の経営を示し、また人間の根本原理を求める哲学的な説明を加え、マネジメントの理論、展開の仕方をわかり易く解説。マネジメント理解のための必読の書。 [5045-X・02] |
| マネジメントの精神と構造      | A5判上製302頁／2800円   |
| 國澤英雄著             | 産業革命からテイラーの科学的管理法、レスリズパーガーからデシまでの約百年の動機付け理論を基に、“勤労意欲を高め、高い業績を生み出す職場”、“皆が楽しく働く職場”を実現する“リーダーシップのあり方”を科学的に記述。 [5050-6・06]                                    |
| 勤労意欲の科学           | A5判上製350頁／3000円   |
| 活力と生産性の高い職場の実現    |   |
| 齊藤保昭著             | マーケティングの基本的性格を考察するとともに、現代のマーケティングの森全体の生成過程、内容、そして、その論理がどのようになっているかを明らかにしようとする教科書。 [5063-5・15]   |
| 現代マーケティングの論理      | A5判並製120頁／1500円   |
| 長谷川博・齊藤保昭・野木村忠度著  | 「生産 (production) — 流通 (distribution) — 消費 (consumption)」という区分化での概念を出所とする区分に跨るマーケティングや、その流通という区分に、特化した専門の書。 [4267-8・21]                                    |
| 流通・マーケティングの基礎     | A5判並製160頁／1800円   |
| 青木 均著             | 小売業態の国際移転に伴う受入国・地域における変容を取り上げ、その過程と要因について理論および事例をあげて検討している。 [4210-4・08]   |
| 小売業態の国際移転の研究      | A5判上製242頁／3500円   |
| 柴山宮恵子・加藤里美・渡辺伊津子著 | 本書は初めて経営学や経済学を学ぶ人や、それらを学問として学んだことのない社会人を対象に「生き延びる」をテーマにして著したものです。第I部は経済発展もたらした消費者問題と地球環境問題。第II部は企業の社会的責任とジェンダー・ダイバーシティ。第III部はアグリビジネス企業の成長と変革。 [5051-2・08] |
| 生き延びる消費者・生き延びる経営  | A5判上製256頁／2500円   |
| 伊藤徳正著             | 社会変革の時代であった1960年代を中心に、時価・発生主義を基礎とした会計フレームワークを提示したベドフォードの学説研究書。彼の主要業績を歴史的に分析し、現代的意義を考察した。シュレシingerのサイクル論を援用し、会計理論の展開を歴史的な変革への要請という視点から検討している。 [4233-3・11]  |
| ベドフォードの会計思想       | A5判上製178頁／2800円   |
| 秋本昌士著             | 新規に市場導入された製品やサービスに対する消費者の反応を理解するための新たな視座を提供する。相対的な情報処理についての包括的・体系的理論の構築、およびそれにかかわる代表的な先行研究の知見の整理を試みる。 [4239-5・12]   |
| イノベーションの消費者行動     | A5判上製194頁／3400円   |

中山重穂著  
**財務報告に関する概念フレームワークの設定**

財務報告の質的特性を中心として  
 A 5 判上製248頁／4000円

現行の財務報告基準ないし会計基準を説明するための基礎となる諸概念を体系化した「概念フレームワーク」の改訂過程に焦点を当て、どのような性格を持つ財務情報の質的特性が公表されるに至ったかを検証する。

[5058-1・13]

田中宏司・坂東洋行・満井美江・横山眞司著  
 アカデミア叢書11  
**現代ビジネスを見る目に確かさを**

A 5 判並製198頁／900円

第1章 ビジネスとコンプライアンス経営(田中宏司)／  
 第2章 金融危機と英米の規制改革の現状(坂東洋行)／  
 第3章 日本のコーポレート・ガバナンス改革の現状(満井美江)／第4章 ネットワークビジネスにおける著作権処理の現状と課題 (横山眞司)

[9222-2・11]

立正大学法学部・立正大学法制研究所編  
 グリーンブックレット⑦  
**現代社会とコンプライアンス**

A 5 判並製84頁／800円

第一線の研究者、マスコミ関係者、行政マン及び市民による白熱した議論に基づいて、現代社会における企業及び行政組織の経営の在り方、その現状と課題を、コンプライアンス、ガバナンスの視点から多角的に検討する。

[9233-8・13]

岡本史紀著  
**私学の再生経営**

A 5 判並製264頁／2800円

企業とは異なり、爆発的に売れる新製品がない大学が、破綻からいかに回復を遂げるのか。経営改善に向けた諸施設とその推移の過程が豊富なデータに基づき示される。

[5057-4・13]

岡本史紀著  
**私立大学に何がおこっているのか**  
 「成長」を超えた「発展」か、忍び寄る「破綻」か

A 5 判並製252頁／2800円

18歳人口の減少と共に影響が危惧される大学進学率の低下等々、私学の危機が叫ばれる時代に、私学関係者の益々の奮起を期待し、「破綻」から「再生・発展」への指標を提案する。

[5066-6・16]

内田勝一著  
**不確実な時代の大学戦略**  
 日本社会のグローバル化と大学の役割

A5判並製248頁／2800円

①歴史沿革、②諸外国との比較、③大学制度が実際にどのような環境の中で機能しているかという社会的実態の3つの方向軸から、現代日本の大学が直面する課題を立体的に解きほぐす。

[6119-8・20]

豊田育子・國澤英雄・足立明隆著  
**病院経営の戦略と戦術**  
 病院経営に企業経営の方法を活用して

A 5 判上製314頁／4000円

赤字経営体質に陥った病院を11の戦略的対策案で安定的な黒字に立て直した経営や、誤業や褥瘡などの問題を減少させ、しかも看護師の離職率を低下させた病院の改善活動などを取り上げ、病院経営に企業で一般的に使われるポーターの戦略論やTQM・豊田生産方式などの経営戦術の有効性を提案する。

[5061-1・14]

杉山雅洋ほか編著  
**先端産業を創りつづける知恵と技**  
 オリバーケット・シティ江戸から引き継ぐ東京

A 5 判並製152頁／2100円

大都市東京の活力の源泉は何に求められるのか。東京には獨創性、多様性、市場性(それらの英語の合成語からオリバーケットと総称)が備わっており、蓄積された広い意味でのインフラ、時代感覚に優れた起業家の活動が相まっているからとの、独自の考え方をその答えとした特色ある研究成果。

[5062-8・14]

---

早稲田大学商学監修／長谷川恵一編

## 観光立国日本への提言

インバウンド・ビジネスのチャンスをとらえる

A5判並製360頁／2800円

観光立国推進基本法の施行，訪日外国人旅行者の増加等を踏まえ，理論面とともに実務面からも観光産業の実態を理解し，今後のツーリズム産業のあり方を論じることを目的とした，早稲田大学商学部「ツーリズム産業論」10年目の成果。

[5067-3・16]

---

社会学

久塚純一著

ここに「感染症」がある(物語編)  
七つの日常

46判上製194頁/2700円

私たちは、一体、どのような「現象」に「ことば」としての「感染症」をあてているのであろうか。日常の「変容」を手掛かりにした「7つの物語」を介して、「感染症現象」が「社会的に構築」されていること描く。[探究編]との併読で完璧!!

[3434-5・23]

久塚純一著

ここに「感染症」がある(探究編)  
日常の「再生産」

46判上製352頁/3600円

「感染症」という「現象」が「出現」し、「再生産」され、「社会的に構築」される。その「姿」を、「5つの場」と「24個の点」における「知識化された日常」の「変容」を介して探求する。[物語編]と併読してさらに深まる!!

[3435-2・23]

古賀勝次郎著

学際レクチャーシリーズ2

東西思想の比較

融合の可能性を求めて

46判上製242頁/2300円

日本が短月日の間に近代化を達成することのできた最大の理由は何か。本書は、西洋思想と日本の思想を思考様式の側面から、思想史的に比較検討し、東西思想の融合の可能性を探ろうとするものである。

[6042-0・89]

東條隆進著

学際レクチャーシリーズ26

よい社会とは何か

46判上製300頁/2500円

「よい社会」は、資本主義と社会主義を超える新しい経済社会、近代市民社会の新しい展開、福祉社会・市場経済・民主主義の統合可能性である。アジア市民社会の形成可能性と未来社会の歴史方向性を経済社会学で読み解く。

[4190-6・04]

照屋佳男著

学際レクチャーシリーズ25

共同体とグローバリズム

46判上製364頁/2800円

社会主義が歴史の必然ではなかったように、グローバリズムも歴史の必然ではない。〈特殊〉に存在理由がある限り共同体には存在理由がある。共同体は蘇生しなければならない。日本近代化の号砲「文明開化」以来、日本をも主導してきた啓蒙思想、グローバリズムの源に深く思索のメスを入れるみずみずしい論考。 [7071-X・04]

池田雅之編著

学際レクチャーシリーズ27

共生と循環のコスモロジー

日本・アジア・ケルトの基層文化への旅

46判上製612頁/3900円

世界の基層文化の世界観を比較文化・文明論の立場から検討(日本、アジア、ケルト、欧米)。「共生」と「循環」というキーワードを軸に、人間の生の根源を問いつつ、文化・文明の源へと還(かえ)る旅の書。

[6083-8・05]

滝澤雅彦・柑本英雄編

祈りと再生のコスモロジー

比較基層文化論序説

A5判上製950頁/12000円

相次ぐ天変地異・戦争・テロの時代において、日本と世界の再生はどのようにして可能か。文化・文明の源へと旅をしつつ、世界平和に向けて、祈りと再生の英知を日本から発信する。

[6109-9・16]



池田雅之・滝澤雅彦編著  
地球・地域学のすすめシリーズ

## 比較文化のすすめ

日本のアイデンティティを探る必読55冊  
46判上製284頁/2500円

困難な時代に贈る21世紀版「比較文化のすすめ」。異文化理解を通して、自文化＝日本文化の本質に迫る。日本・日本人の自画像を描き直す試み。シリーズ「地球・地域学のすすめ」第一弾。書評形式による「比較文化」の入門書！

[7095-4・12]

池田雅之編著  
成文堂選書17

## イギリス人の日本観〔新版〕

英国知日家が語る“ニッポン”  
46判上製440頁/2500円

日本人はイギリス人といかに付合い、いかに学び合うか。英国知日家16名が率直に語る日本への不安と期待。

[7056-6・93]

大畑裕嗣著  
明治大学人文科学研究所叢書

## 現代韓国の市民社会論と社会運動

A 5 判上製228頁/5000円

1980年代後半から現在にかけての韓国における、市民社会論と民主化、社会運動の関係を解明。韓国の市民社会論は、民主化過程の中でどのように姿を現わし、21世紀の「ポスト民主化」の流れの中でどのような意義を有するのか。さらに社会運動の展開をナショナルとローカルのレベルに分けて展望する。

[3282-2・11]

大平章編著

## ノルベルト・エリアスと21世紀

A5判上製266頁/2800円

1 ノルベルト・エリアスの生涯/大平章 2 社会学者としてのエリアス/和田修一 3 詩人としてのノルベルト・エリアス/大平章 4 エリアス/佐伯啓思 5 エリアスの科学論/亀本洋 6 ノルベルト・エリアスの『ドイツ人論』/相澤正己 7 ユダヤ系知識人としてのエリアス/堀邦雄 8 エリアスのジェンダー論について/大平章ほか [6079-X・03]

大平章著

## ノルベルト・エリアスの全体像

フィギュレーション理論の探究  
A5判上製324頁/7000円

ノルベルト・エリアスの社会学が今日の世界状況においてどのような指針を我々に示してくれるかを念頭に置きながら、彼の著作の全容を、日本の読者のためにより系統的に解説する。

[3375-1・18]

近江幸治著  
New Public Management から

## 「第三の道」・「共生」理論への展開

資本主義と福祉社会の共生  
46判上製192頁/2000円

人間の行動パターンの基本原則であり社会発展の基本原則である「市場原理」の貫徹と、政府による十分な福祉政策によってもたらされる「市場の成功と政府の成功」。それを支えるべき“あるべき市民社会”としての役割相乗社会・共生社会の実現——その必要性と条理・道筋を学問的に位置つけた力作。

[2407-6・02]

三木妙子・勝方恵子・岩志一郎  
菊池馨実・弓削尚子・棚村政行著

## 家族・ジェンダーと法

46判並製214頁/1800円

欧州における家族・婚姻に関する権利、民法上の男女平等原則、育児・介護などの社会保障制度における役割の変容、児童虐待やドメスティック・バイオレンスなどの現代社会における家族やジェンダーの問題を多角的に説き明かす。

[9114-8・03]

山中進編  
熊本大学地域連携フォーラム叢書

## 女と男の共同論

46判並製286頁/2000円

ジェンダー（＝性差）をキーワードに、多面的な視点から男女共同参画社会のあり方を展望した大学生・一般市民向けの入門書。内容は、ジェンダー学を総合的に記述した三章、女性と男性の歴史と文化を記述した二章、それに政治・社会・法律・福祉の方面からジェンダーの問題を扱った四章からなる。

[9116-4・03]

浅倉むつ子・西原博史編著

## 平等権と社会的排除

人権と差別禁止法理の過去・現在・未来

A5判上製282頁／4500円

(0606-9・17)

遠藤美奈・植木淳・杉山有沙編著

## 人権と社会的排除

排除過程の法的分析

A5判上製308頁／5000円

(0691-5・21)

大津留香織著

RJ叢書12

## 関係修復の人類学

A5判上製282頁／5800円

(6118-1・20)

おどりっふ  
呉獨立著

## 「孤独死現象」の社会学

実在, 言説, そしてコミュニティ

A5判上製266頁／5400円

(3415-4・21)

伊藤洋典編

熊本大学地域連携フォーラム叢書4

## 「近代」と「他者」

46判並製196頁／1600円

(9149-0・06)

中京大学社会科学研究所プロジェクト編  
社研叢書12

## 消費者問題と消費者政策

A5判上製298頁／2800円

中京大学社会科学研究所プロジェクト

〈消費者問題と消費者被害救済の研究〉編

社研叢書14

## 消費者問題と消費者保護

A5判上製366頁／3500円

中京大学社会科学研究所編

中京大学社研叢書24

## 英連邦多文化主義国家の社会と文化

A5判上製264頁／3000円

間接差別理論の構成原理として重要な規範的意義を展開し得る個別の要素を正確に位置づけ、間接差別や構造的差別、社会的排除による権利侵害を問題とする多国間比較法研究。

社会構造を構成する制度的諸要素が相互に関係し作用し合い、複数の不利が個人に連鎖的に影響するプロセスである社会的排除、こうした状況下での人権の実質化に必要な法規範論を考察する。

争いによって損なわれた当事者同士の関係はどのように修復されるのかという問題意識を元に、バヌアツ共和国における葛藤解決の事例について、認識的共感能力と物語の議論を手がかりに分析・考察する。

第1章「孤独死」とは何か? / 第2章「孤独死現象」における「現象」の実在 / 第3章「孤独死現象」と言説 / 第4章「孤独死現象」をめぐる「コミュニティ言説」及び、その特徴 / 第5章 福祉問題としての「孤独死現象」とコミュニティ

〈主要目次〉 第1章ピエール・ロチの見た非西洋世界(寺田光徳) 第2章ワグナー芸術は「ドイツ的」か?(杉谷恭一) 資料西欧近代は他者をどのようにイメージしたのか(三瓶弘喜) 第3章近代国民国家における人間的なものと政治的なもの(伊藤洋典) ほか

消費者・市民の立場から、消費者問題の解決に有効な消費者政策のあるべき姿を模索。最近消費者政策の基本方針が、弱者救済としての消費者保護から一転して、消費者の「自己責任」を基調とする「消費者の自立」の方向へ転換したことに関連して、新消費者法や消費者行政の現状と課題について詳述した。

『消費者問題と消費者政策』の続編。消費者運動と消費者政策に限定せず、『自由財の消費』の視点から環境運動と環境政策さらに両運動の連携と融合にも論及。「消費者運動と消費者保護」「水産物の安全性と消費者保護」「環境問題と消費者保護」「消費者行動と消費者教育」の4部、計13の論文から構成

主要目次 オーストラリア家族法における新たな展開(石堂典秀) オーストラリアにおけるロシア系宗教移民(安村仁志) イギリス会社法における派生訴訟(上田純子) 大正陪審法から平成裁判員法へ(加藤紘捷) 日本の独立行政法人制度の創設と変容(桑原英明) 英国における再帰的近代化(中西) 他

中京大学社会科学研究所編

中京大学社研叢書20

アジア・太平洋地域における  
「ものの考え方」

A5判上製228頁／3000円

西洋的思考とそれに基づく制度は、進歩とともに、環境問題や核開発などグローバルな視野からの解決を迫られる多くの問題を生み出してきた。そのような問題を打開していくために、本書は、西洋的発想にはみられないアジア・太平洋地域の多角的な「ものの考え方」を探る論稿8篇をおさめている。 [6086-3・07]

砂岡和子・池田雅之編著

世界のことばと文化シリーズ

## アジア世界のことばと文化

A5判並製310頁／2800円

アジア世界の多様な言語と文化を紹介し、新たな地域研究のあり方を提唱。アジアの言語文化地図を描き直し、21世紀にふさわしいアジアの学び方を示唆。中国、韓国、モンゴルなどの東アジアの言語文化のみならず、ベトナム、タイ、カンボジアなどの東南アジアの言語文化も紹介。異色のアジア学入門書。 [7074-4・06]

池田雅之・矢野安剛編著

世界のことばと文化シリーズ

## ヨーロッパ世界のことばと文化

A5判並製310頁／2800円

ヨーロッパ世界を言語と文化を切り口に新たに描き直す地域研究の試み。ヨーロッパの代表的な言語（ギリシア語、フランス語、ドイツ語、英語など）は言うまでもなく、アイルランド語やブルトン語などの少数言語にも言及。ヨーロッパ全体の言語文化地図の見直しを行い、21世紀のヨーロッパ像を読者に提供。 [7075-2・06]

岡澤憲英・村井誠人編著

世界のことばと文化シリーズ

## 北欧世界のことばと文化

A5判並製272頁／2800円

21世紀の先進工業国家の多くが直面する問題について、大胆な実験精神で意欲的に対応する北欧について、各国の言語文化をめぐる状況とライフスタイルの理解をひとつの切り口にして北欧研究への扉をひらき、未来志向型社会・北欧の英知に触れる入門書。 [7076-3・07]

佐藤次高・岡田恵美子編著

世界のことばと文化シリーズ

## イスラーム世界のことばと文化

A5判並製318頁／2800円

広大・未知のイスラーム世界を言語・文化・宗教・文学の視点から多角的に解明する。新鋭の研究者たちによる新・イスラーム学のすすめ。 [7082-4・08]

矢野安剛・池田雅之編著

世界のことばと文化シリーズ

## 英語世界のことばと文化

A5判並製362頁／3000円

今や世界中で使われている多様な英語の諸相をさまざまな角度から取上げる。英語を母語とする国々における英語の変遷、母語としない国々での英語使用の現状と教育政策、さらに英語の未来などを論じ、さまざまな地域において多様化しながら国際的なコミュニケーション手段となった英語とどう向き合うかを考える。 [7083-1・08]

畑恵子・山崎真次編著

世界のことばと文化シリーズ

## ラテンアメリカ世界のことばと文化

A5判並製382頁／3000円

同質性と多様性を有するラテンアメリカ・カリブ地域の言語・文化世界の現状を描き、その生きた姿を紹介する。(内容 Iラテンアメリカ世界への誘い。IIラテンアメリカの芸術と文化。IIIラテンアメリカの先住民言語文化と国民国家。IVラテンアメリカ・カリブ諸国における言語文化の多様性、他。 [7084-8・09]

桑野隆・長與進編著

世界のことばと文化シリーズ

## ロシア・中欧・バルカン世界のことばと文化

A5判並製338頁／3000円

ロシア・中欧・バルカン地域を主な対象として、言語と文化の新鮮な情報をさまざまなテーマのもとに提供する。旧「ソ連・東欧」体制崩壊後の言語・文化のみならず、歴史・社会の研究のあり方にまで及んだ変化を踏まえ、新たな視点をもって特徴付けようとするもの。 [7088-6・10]

池田雅之・大場静枝編著  
世界のことばと文化シリーズ

## 国際化の中のことばと文化

A 5 判並製310頁／3000円

「国際社会における日本語と日本文化」「異文化（留学）体験」「外国語学習（修行）」「ことばと文化の未来」のほぼ4つのテーマを巡る講演とエッセイ。日本人の異文化理解と外国語学習のあり方を問い、世界の言語・文化の現在と未来を描く。

[7091-6・11]

原良枝著

## 声の文化史

音声読書としての朗読

46判上製490頁／3900円

我が国初、声の文化史の誕生。母語である日本語に正しく向き合い、新たなコミュニケーションのあり方を模索する、問題提起の書。

[6108-2・16]

兼田麗子著

## 大原孫三郎の社会文化貢献

A 5 判上製264頁／5000円

倉敷の企業家、大原孫三郎は、文化の世紀と言われる現在を遡ること約1世紀前に、自費も投入し続けて日本の地域と文化の保護・発展のために民間人の立場から尽力した。現在も脈々と受け継がれている孫三郎の社会文化への貢献を、周辺の人物と関連づけてまとめた著作。

[6090-0・09]

兼田麗子著

## 戦後復興と大原總一郎

国産合成繊維ビニロンにかけて

A 5 判上製278頁／5400円

企業、文化、芸術など幅広い分野で積極的にリーダーシップを発揮した大原總一郎の企業人としての挑戦的な仕事に焦点を当てたもの。

[6102-0・12]

福田忠弘著

## ベトナム北緯17度線の断層

南北分断と南ベトナムにおける革命運動

A 5 判上製266頁／3500円

南北分断後、南ベトナム政府転覆を目指す革命路線は、いかに決定されたのか。平和的な政策による南北統一を目指す北のベトナム労働党中央と、武力を用いて南ベトナム解放を目指す南のベトナム労働党支部との認識の相違を、ベトナムで公開された新資料を基に分析し、新たな仮説を提示、検証する。

[3207-9・06]

富沢克・力久昌幸編著

## グローバル時代の法と政治

——世界・国家・地方——

A 5 判上製226頁／3300円

1. ナショナル、リージョナル、ローカル、グローバルな局面が密接に交錯しつつ、重層的あるいは多層的に構成される現代の政治的・法的課題について、政治史、国際政治、国際法、憲法、法哲学、政治思想史などのそれぞれの専門分野から多様なアプローチを試み、21世紀の秩序像を探る。共同研究の成果。

[3260-0・09]

清正寛・沼田雅之・根岸忠・大矢息生・川村健一郎著  
アカデミア叢書8

## 定年前の仕事えらびを見る目に確かさを

A 5判並製144頁／900円

第1章／定年前の仕事えらび 清正 寛 第2章／高齢者の雇用に関する諸施策 沼田雅之 第3章／高齢者の所得保障 根岸 忠 第4章／定年に備えて、こんな資格を早く楽にとる方法 大矢息生 第5章／世田谷区の生涯現役推進策 川村健一郎

[9176-8・08]

小高剛〔監訳〕永松正則・伊川正樹・松田聰子・下村誠〔共訳〕

## アジア太平洋諸国の収用と補償

A 5判上製390頁／5000円

農業・自然環境保全のための広く比較的未開発土地の必要性、産業・経済活動、都市生活のための土地、公共事業用地の必要性との競合が増すにつれて、政府の土地利用規制権・収用権の行使は増加する。本書は、急激な都市化が進むアジア太平洋11国の法制度と実情を知る最速書。

[3222-8・06]

渡辺利夫・奥田進一編

パースペクティヴズ6

## 後藤新平の発想力〔補訂版〕

A 5判並製110頁／1000円

日本近代史の重要人物でありながらスポットライトを浴びる機会の少なかった後藤新平の業績のうち、現在に通じる文物制度40項目を紹介する。私たちの日常生活には後藤の業績の産物が驚くほど多く存在しており、それらに気が付くことで後藤の発想力の一端に触れることを企図した、見開き読み切り型の書。(9247-5・15)

土方正夫編著

## 地域計画情報論

A 5判並製268頁／3000円

地域計画とは何か。地域計画の主体、形成過程、価値、方法的等、地域計画を巡る基本問題を現代情報社会の中で論じ、同時に今後の課題について考察する。(3376-8・18)

佐藤滋・早田宰編著

## 地域協働の科学

まちの連携をマネジメントする

A 5判上製284頁／3500円

行政、市民、NPO、地域団体等の協働によるまちづくりの新しい理論書。次世代の組織形態、支援技術、計画システム等の戦略構築の考え方を提言する。(8056-1・05)

駒澤大学マス・コミュニケーション研究所編

駒澤大学マスコミ研究所叢書

## 政治とメディア

A 5判上製350頁／3000円

現実のメディアやジャーナリズムは民主制の中で実際にどのように機能しているのか。メディア取材や広告、教育の現場といった広い意味での政治に関わってきた経験を踏まえて、「メディアと政治」の在り方を分析する。(3314-0・13)

駒澤大学マス・コミュニケーション研究所編

駒澤大学マスコミ研究所叢書

## 社会とメディア

A 5判上製302頁／3000円

現実のメディアやジャーナリズムが社会の中で果たす役割は何か。従来型のメディアであるテレビや新聞、通信社の役割や影響力、さらには今日一般社会にとって最も重要なメディアであるインターネットの現状についても追究する。(3315-7・13)

八巻和彦編著

## 「今を伝える」ということ

「石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」記念講座2015

A 5判並製278頁／1500円

自衛隊の不正に一人立ち向かった現役自衛官、警察と暴力団の癒着構造、貧困の中で育つ子どもたちの実情とその「包摂」への提言、震災報道を通じて考える調査報道の使命……。ジャーナリズムと「現代」について考えるための必読の書。(3339-3・15)

八巻和彦編著

## 日本のジャーナリズムはどう生きているか

「石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」記念講座2016

A 5判並製278頁／1500円

安保法制、沖縄米軍基地、オバマ大統領広島訪問、春画展、ひきこもり、貧困……。混沌とし、迷走する日本の現実にジャーナリズムはどう向き合ってきたか。身の回りの現実から世界の大勢まで、多様な視点から日本社会の「自画像」を描き出す。(3357-7・16)

八巻和彦編著

「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」

記念講座2017

## 「ポスト真実」にどう向き合うか

46判並製384頁／2000円

繰り返される「忖度」、拡散される「フェイクニュース」、蔓延する「反知性主義」。理性よりも感情が優先され、社会が分断されていく「ポスト真実」的状況への処方箋とは何か。「森友・加計」、「南京事件」、「憲法改正」などの現場から、病める現代日本を鮮やかに描き出す。(3369-0・17)

瀬川至朗編著

「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」  
記念講座2018

ジャーナリズムは歴史の第一稿である。

46判並製328頁／1800円

政府が記録を隠蔽し、改竄し、そして抹消する。一方、ネット上では真偽不明の情報次々と拡散される。民主主義が根底から揺さぶられる中、ジャーナリズムが果たすべき役割とは何か。日報隠蔽、沖縄問題、外国人労働者、そしてフェイクニュース……。それぞれの「第一稿」から現代日本の課題を鮮やかに照射する。〔3382-9・18〕

上野真也・田中尚人・河村洋子編著

熊大政創研テキスト3

コミュニティ・マネジメントのすすめ

A 5判並製178頁／2000円

生活圏としてのコミュニティの姿が大きく変容し、地域コミュニティにおける「共助」の意味やその価値の重要性が改めて問われている。地域貢献としてコミュニティ支援に積極的に取り組んできた「共創的地域マネジメント」研究の成果。

〔8072-4・13〕

淑徳大学コミュニティ政策学部編

コミュニティ政策のはなし

46判並製176頁／1800円

つながりは生きる糧！ 東日本大震災などで注目された「コミュニティ」と人びとのより良い暮らしを作り上げていく方策としてのコミュニティ政策を考える。実学を基調とする淑徳大学コミュニティ政策学部の学びを紹介する書。

〔8071-7・13〕

松井かおり編著／田室寿見子著

「ドキュメンタリー演劇」の挑戦

多文化・多言語社会を生きる人たちのライフストーリー

A5判並製306頁／3000円

2008年からの5年間に多文化共生プロジェクトで上演された「ドキュメンタリー演劇」の台本を中心に、作品制作に携わったアーティスト、スタッフ、参加者による寄稿集。多文化・多言語社会を生きる人たちのライフヒストリー。

〔8077-9・17〕

松井かおり編著／田室寿見子著

演劇ワークショップでつながる子ども達

多文化・多言語社会に生きる

A5判並製266頁／3000円

親の都合で来日を余儀なくされた外国の子ども達に焦点をあて、演劇ワークショップの体験を通し、どのように自分を理解し、コミュニティーの一員となっていくのかを見つめる。演劇ワークショップに関わった様々な立場の人達の記録。

〔8083-0・20〕